

クラブ紹介

私たちのクラブ自慢を聞いてください!!



女子ラクロス部

Girl's Lacrosse Club



女子ラクロス部は2022年春の開校に合わせて生まれた新しいクラブです。高校生10名、中学生2名が活動。現在は秋季大会に向けて、まずは体力づくり、そして基礎基本から練習を積んでいます。というのも、ラクロスは経験者が非常に少ないスポーツ。実際に、現在の部員の中にも経験者はいません。しかし、そこがラクロスの特長でもあります。「初心者だから自然と教え合うことができ、各々がこれまで他のスポーツで培ってきた経験や知識を活かした練習を行うことで、チームを高められています」と部員の松本莉歩さん。初心者かつ一期生ということで、何もないところから自分たちの手でチームの文化を築いていくことに充実感を覚えているそうです。また、チームでは「人間として成長すること」を目標に掲げ、目配り・気配り・心配りを実践。挨拶などの礼儀も重んじています。多彩な生徒が集いスタートした女子ラクロス部、これからの活躍がとても楽しみです!



松本 莉歩 さん (1年生)
「チームが本当にいい雰囲気なので、楽しく活動できています。何より、できなかった事ができるようになると、とてもうれしいです!」

生物部

Biology Club



生物部では水曜日と土曜日の週2回、ピオトープを中心に学校内の生物の観察・記録などを行っています。今年から発足したクラブですが、現在部員は16名。生物が好きな多彩なメンバーが集まっています。生物の活動記録については、「生物多様性センター」のスタッフの方からアドバイスを頂くなど、本格的な活動をしています。そんな生物部の大切な活動内容の一つがピオトープの管理。不必要な雑草が繁茂しすぎないように手入れをしています。生物が生きる環境を整えるのも重要なことなのですね。また、定番活動だけではなく、新しいことにもどんどんチャレンジ! 先日は、部員の発案でイカの解剖を行ったほか、今後は動物園や水族館のバックヤード見学なども予定しています。「やりたいことをやろう! と先生方が仰ってくださいるので、今後は自分達のやりたい観察や記録に個人やチームでも取り組みたいです」と部長の栗坂さん。部員同士も仲が良く、楽しい雰囲気がとても印象的でした。生物が好きな生徒は一度見学に訪れてみてはいかがでしょうか?



栗坂 優衣 さん (1年生・写真前列中央左)
「現在、男子の部員が少ないのですが、生物が好きな人は楽しく学べる部活動なので、気軽に見学に来てください!」

松下校長先生のコラム
Study しようぜ!
Hi, let's have fun studying!!

突然ですが、みなさん、勉強は好きですか?

好きだ、という人はあまり多くないかもしれませんね。ではなぜ、勉強は楽しくないのでしょうか? 「勉強」は「学問にはげむ」という意味ですが、漢字の「勉強」には、「困難なことをがんばってやる」という意味があります。こうした意味から「気が進まないものを作る」といったネガティブなイメージになってしまうのではないのでしょうか。ではなぜ「気が進まない」と思ってしまうのか? それは、何のために勉強するのか、よく分からないからですよね。

それでは、「勉強」を英語で言うと何でしょう? そう、「study」です。「study」の語源は知っていますか? 「study」の元々の意味は、「没頭する、夢中になる」という意味です。漢字の「勉強」の「困難なことを無理にやる」とはまったく正反対の意味ですよね。つまり、

「study」という言葉は、「自分からのめり込んでいく」という、本来私たちが勉強に対して持つべき考え方が根底にある言葉なのです。勉強とはのめり込んでいくものなのです。それでは、みなさんが勉強にのめり込むためにはどうしたらいいのか? それは自分の楽しみを見つけることです。本来、自分の楽しみを見つけることが勉強であり、勉強とは「自分の価値を高める」ものです。教えてもらうことが勉強ではありません。

みなさん、楽しみはありますか? あるよという人、いいですね。楽しみのない人、それはまだ自分が何をしたいのか、見つけられていない人たちかもしれないですね。しかし、みなさん、楽しみはどこか自分以外のところにあるはずと、きょろきょろ探してはいませんか? 楽しみは本来その人の中に生まれるものです。勉強とは「自分で考えて、自分に答える」ことです。自分の楽しみを見つけることが出来たら、もう「知りたい知りたい」が止まらなくなりますよ。どうですか? みなさん、勉強したくなってきましたか?

それでは、.. 今日「study」しようぜ!